

2011年 8月31日

北海道知事

高橋 はるみ 様

北海道平和運動フォーラム

代表 江本 秀春

代表 山田 剛

「脱原発・クリーンエネルギー」市民の会

代表 船橋 奈穂美

代表 小野 有五

代表 山田 剛

代表 山田 富士雄

代表 藤門 弘

「泊原発3号機のプルサーマル計画」にかかわる「メール」問題に対する申し入れ

貴職におかれましては、日頃より、道民生活の維持向上にご尽力されていることに対し敬意と感謝を申し上げます。

さて、北海道電力は、26日、2008年10月に後志管内岩内町で開催された道主催の泊原発3号機のプルサーマル計画に関するシンポジウムにおいて、関係部署の社員に対してシンポジウムに参加し、賛成の意見を促すメールを送信していたことを認めました。

メールでは、「プルサーマル計画を確実に進めるためにも、数多くの方々にご参加いただき推進意見を提出していただければと思っています」としており、明らかに「賛成誘導」の「やらせ」と言わざるを得ません。地元住民の意見を公平に聞くはずの場で、プルサーマル計画推進に向けた「世論誘導」が行われていたことは、道民・国民を冒涇するもので断じて容認できるものではありません。

「市民の会」は、このシンポジウム開催後、「参加者の意見を十分に聞く時間を確保しない」など運営面において極めて問題があったことから、道に対して新たに「道民の意見を聞く会」を設定するよう要求してきました。しかし、道は、会場で実施したアンケートにおいて、「計画への理解が深まった」との回答が55%に達したことなどから、再度の開催もせず、道が翌年に計画受け入れの判断を下した根拠の一つになったとされています。

「容認判断」にかかわっての不正が明らかになった以上、プルサーマル計画は白紙撤回することは避けられません。つきましては、下記の事項を申し入れますので、誠意ある対応を要請いたします。

記

1. 泊原発3号機のプルサーマル計画を白紙撤回すること。
2. 北電に対して、MOX燃料の製造などすべての工程を直ちに停止するよう指導すること。
3. 北電に対して、他のシンポジウム等を含め、真相解明し、道民に全容を明らかにするよう要請すること。

以上